

木質バイオマス利用推進現地見学会を開催

新日鐵(株)釜石製鐵所では、今年の10月から地域で発生した間伐材等の未利用資源を石炭火力発電燃料の一部に活用する実証試験をスタートしています。

そこで、釜石地方林業振興協議会(会長:沿岸局農林部長)では、去る11月25日に釜石市・大槌町の一般住民を対象とした見学会を開催しました。

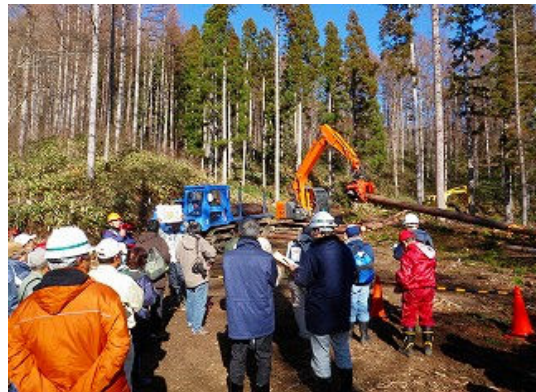
参加者は、一般住民20名、協議会員7名、報道関係者3名、計30名でした。

当日は、釜石市橋野町和山の間伐材等の収集作業現場及び釜石製鐵所構内の屋外・屋内ストックヤード、破砕機(チップパー)、木質バイオマス石炭混焼発電施設、並びに同製鐵所の主力製品である線材工場を見学しました。

参加者からは、
・新しい取り組みは話しに聞いていたが、目の当たりでき感心した。

・山がきれいになっていくのを実感できて良かった。

・間伐等について関心のない森林所有者も多いので、相談窓口を設ける等PR活動も必要。との意見もありました。



間伐材等収集作業見学状況



破砕機(チップパー)稼動見学状況



木質バイオマス石炭混焼発電施設